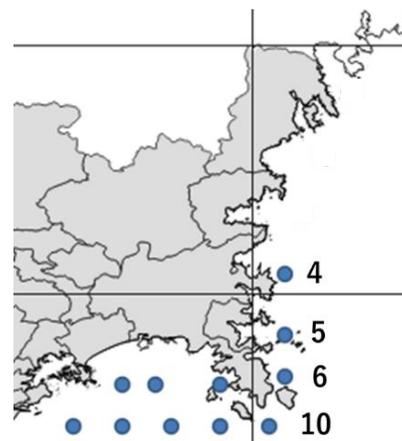


令和7年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.7)

令和8年2月25日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和8年2月24日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で8.2~8.5℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は St. 6 で10細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン (*D. acuminata*) は St. 10 で10細胞/L 確認されました。



調査地点図

調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				2月24日	2月2日、13日	2月24日	2月2日、13日	2月24日	2月2日、13日	2月24日	備考
4	2月24日 8:58 85.5 m	8.0	8.3	0	0	0	0	0	0	0	
5	2月24日 8:19 31.8 m	7.0	8.2	0	0	0	0	0	0	0	
6	2月24日 7:32 67.1 m	7.0	8.2	10	10	0	0	0	0	0	
10	2月24日 13:13 83.3 m	14.0	8.5	0	0	0	0	10	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水